



盛岡市水道ビジョン2045

- ・ 盛岡市水道事業基本計画2025 【令和7～16年度】
- ・ 盛岡市水道事業経営戦略2025 【令和7～26年度】



令和5年11月
盛岡市上下水道局

構 成

第1章 策定の趣旨と位置付け

第2章 盛岡市水道事業基本計画2025

第3章 盛岡市水道事業経営戦略2025



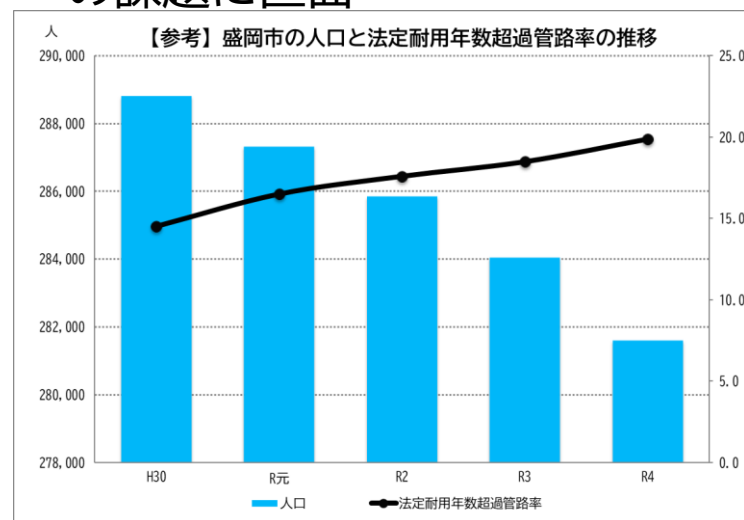
盛岡市上下水道局広報キャラクター
水道ぼうや

1 策定の趣旨

盛岡市水道事業は、平成27年3月に計画期間を10年間とした「第三次水道事業基本計画～もりおか水道ビジョン」を策定し、効果的かつ効率的な事業運営を推進してきました。

しかし

人口減少や施設の老朽化などの課題に直面



将来にわたり水道を持続させるため
盛岡市水道ビジョン2045を策定

2 水道事業の概要

○供用開始年月日	昭和9年12月1日
○行政区域内人口	281,607人
○給水区域内人口	278,708人
○給水人口	276,831人
○給水区域	139.38平方キロメートル
○水道普及率	98.3%
(給水人口／行政区域内人口)	
○給水普及率	99.3%
(給水人口／給水区域内人口)	
○有収率	93.2%
(浄水場等から市内に送り出す給水量に対し、上下水道局の収入として計上される有収水量の割合)	
○1日平均配水量	81,271m ³
○浄水場	6箇所(米内・沢田・新庄・生出・刈屋・前田)

(令和5年3月31日現在)

3 計画の位置付け

- 厚生労働省「新水道ビジョン」を踏まえた、本市水道事業の将来像を示す、盛岡市の「水道事業ビジョン」及び総務省が策定を要請している経営戦略として位置付けます。
- 「第三次水道事業基本計画～もりおか水道ビジョン～」を引き継ぎつつ、本市水道施設の整備に関する基本的方針を定めた「もりおか水道施設整備構想」、まちづくりの基本となる指針を定めた「盛岡市総合計画」等との整合を図ります。

上位計画

- 盛岡市総合計画基本構想
- 盛岡市総合計画実施計画

部門計画

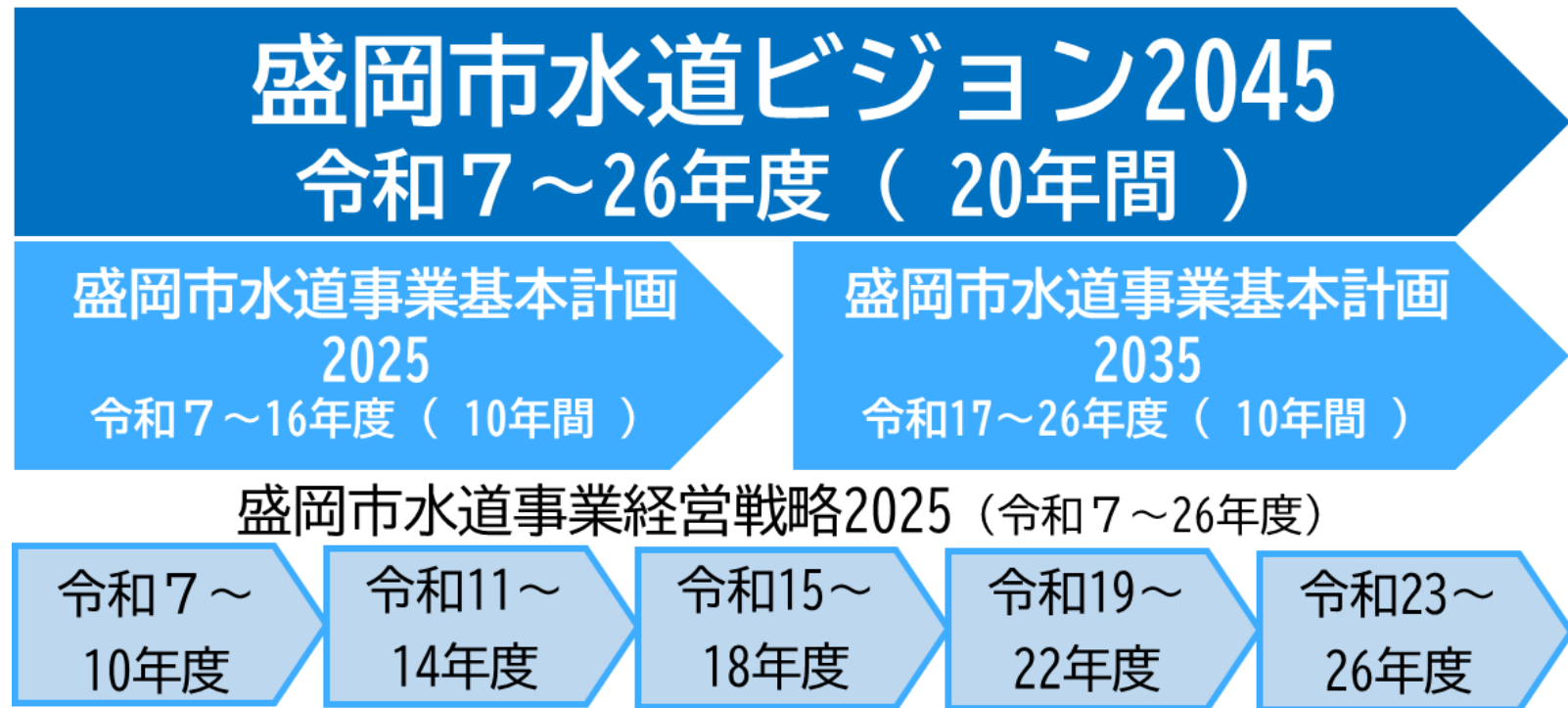
- 盛岡市水道ビジョン2045
(令和7～26年度)
- 盛岡市水道事業基本計画2025
(令和7～16年度)
- 盛岡市水道事業経営戦略2025
(令和7～26年度)

○水道ビジョンの構成

- ・ 基本理念（理想像）
 - ・ 基本計画▶基本理念実現のための直近10年間の目標を具体的に示す事業の基本計画
- ⇒厚生労働省『「水道事業ビジョン」作成の手引き』に基づき策定
- ・ 経営戦略▶将来にわたって安定的に事業を継続していくため、必要な投資額とその財源計画を中長期で定める経営の基本計画
- ⇒総務省『経営戦略策定・改定ガイドライン』『経営戦略策定・改定マニュアル』に基づき策定

4 計画の期間

- 盛岡市水道ビジョンは令和7～26年度の20年間の計画
- 盛岡市水道事業基本計画は、盛岡市総合計画に合わせ、10年間の計画
- 盛岡市水道事業経営戦略は、令和7～26年度の20年間の計画であり、4年ごとに見直しを行います。
- ※ 上記にかかわらず、社会環境の急速な変化や、各施策の達成状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。



5 基本理念

**安全でおいしい水を安定的に供給する強靱な水道システムを築き
将来にわたってお客さまから信頼される水道**

施策の方向性

① 安全で良質な水道水の供給

② 災害対策の充実

③ 計画的な施設の更新・改良

④ お客さまサービスの向上

⑤ 健全経営の推進

1 施策の方向性

(1)安全で良質な水道水の供給

- 水道水源の保全
- 安全な水道の普及促進



水源涵養林の維持管理

(2)災害対策の充実

- 施設の耐震化の推進
- 災害対応の充実

(3)計画的な施設の更新・改良

- 整備計画の策定・運用
- 人口減少を見越した施設の効率化



水道管布設工事の様子



ドローンによる水管橋の点検

1 施策の方向性

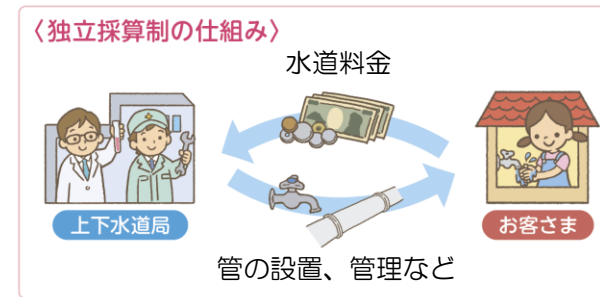
(4)お客さまサービスの向上

- ICTの導入等による利便性の向上
- 広聴広報の充実



(5)健全経営の推進

- 経営状況の継続的分析と収入確保の取組の推進
- 事務事業の見直しやDXの推進等効率的な運営
- 職員の知識取得、技術の継承



2 施策の主な取組

施策の主な取組、実施事業については、現ビジョンの内容を踏まえつつ、現状と課題を整理し、局内で検討を進めます。

3 計画の推進

(1) 進行管理

基本計画は、施策ごとに指標を設定し、指標の達成状況や環境の変化に合わせて、取組内容を毎年度見直しながら、進行管理していくこととします。

その上で、最終年度において、取組状況や達成見込みを踏まえ、次期計画「盛岡市水道事業基本計画2035」に反映させていきます。

盛岡市上下水道局

盛岡市水道ビジョン検討委員会

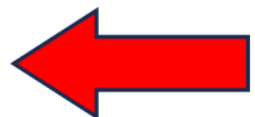
- ▶ 計画の進捗管理
- ▶ 経営状況の確認・分析
- ▶ 計画の策定・改定の検討

諮問・報告



盛岡市上下水道事業 経営審議会

- ▶ 運営状況の確認

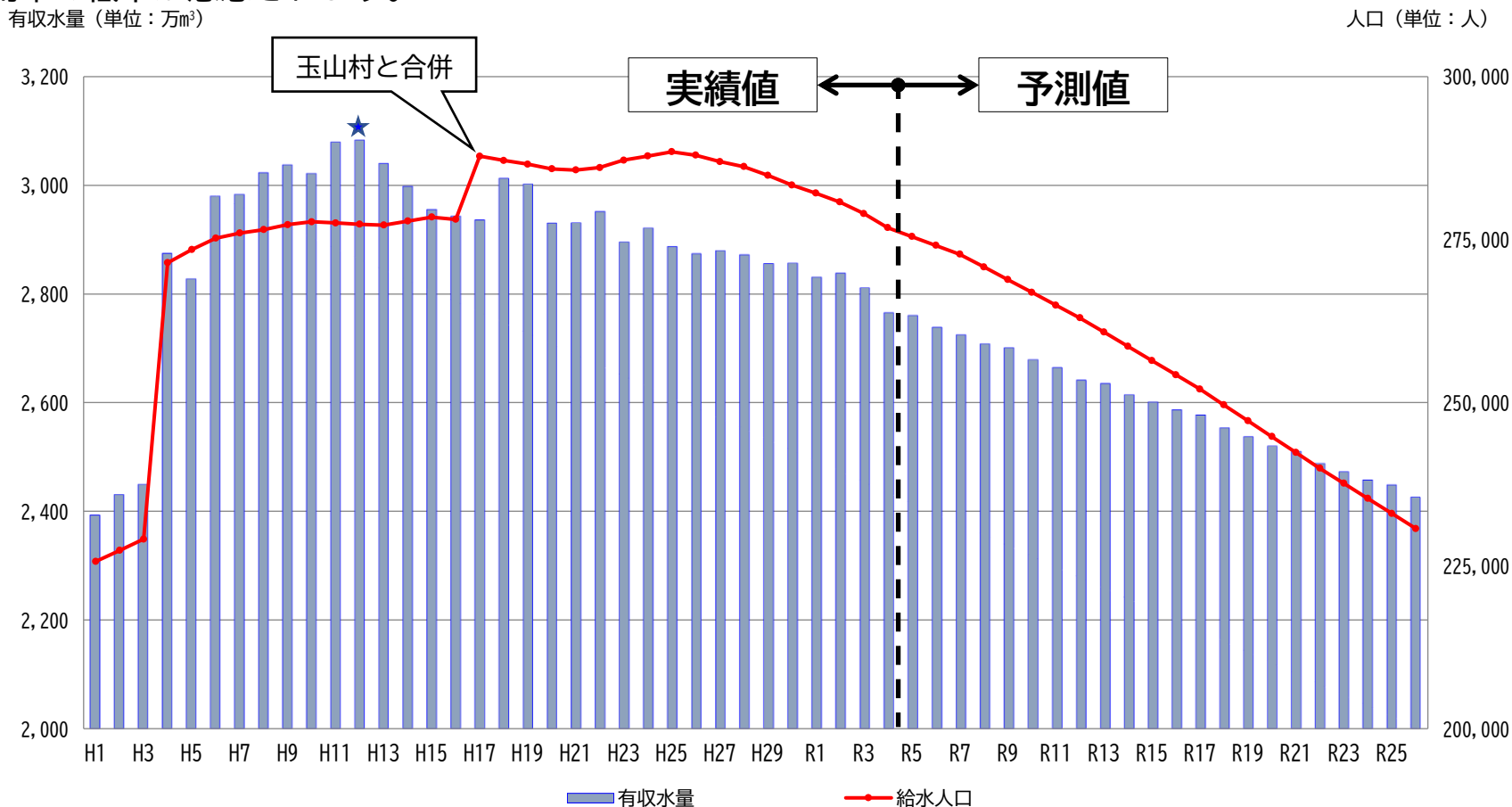


答申・助言

1 水道事業の状況

(1) 水需要

人口減少及び節水意識の向上、節水機器の普及などにより減少を見込んでいます。水需要の減少は、給水収益の減少につながり、水道事業の経営に大きく影響します。また、長期的には配水能力が過剰となり、施設利用率の低下が懸念されます。



※ 予測値は、もりおか水道施設整備構想 (H26.6) 及び市人口ビジョンを基に推計

1 水道事業の状況

(2) 施設

ア 浄水場など基幹施設

高度経済成長期における急速な水需要の増加に対応するため、主に昭和30年代以降、施設の拡張整備を行ってきましたが、今後10～20年のうちにその多くが法定耐用年数を経過する見込みです。創設当時から使い続けている施設については、既に法定耐用年数を超過しているため、補修等により延命を図っていますが、財源が限られる中で施設の老朽度や重要度に応じた更新が課題となっています。また、将来の水需要の減少に合わせた施設の再構築が必要となります。

主要施設の状況	分類	整備時期	経過年数 (R5基準)
米内浄水場	緩速ろ過地	昭和9年	89年
	急速ろ過池	昭和43年	55年
沢田浄水場	急速ろ過池	昭和50年	48年
新庄浄水場	急速ろ過池	平成7年	28年
生出浄水場	滅菌のみ	昭和55年	43年
刈屋浄水場	滅菌のみ	昭和54年	44年
前田浄水場	急速ろ過池	平成11年	24年

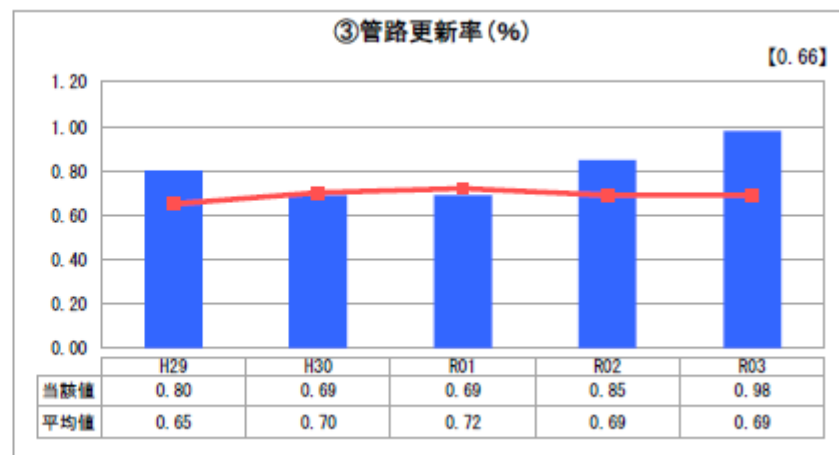
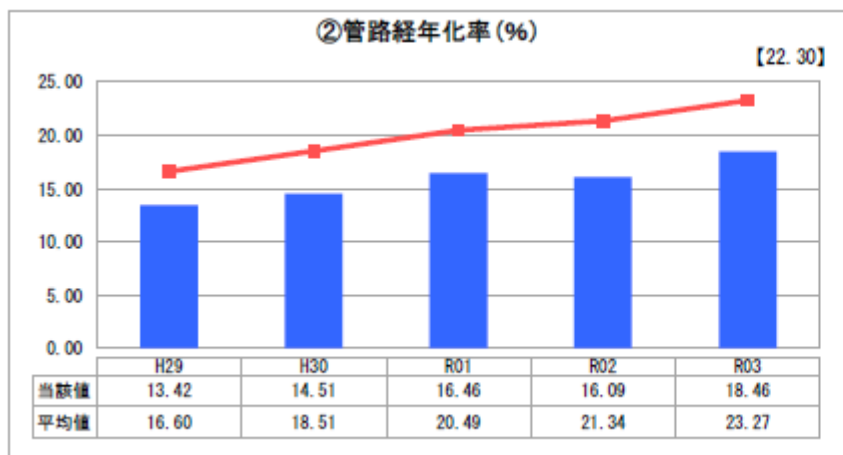
1 水道事業の状況

(2) 施設

イ 管路

法定耐用年数（40年）を経過した管路延長は、令和4年度末で約323kmとなっており、管路総延長約1,624kmの19.9%が法定耐用年数を超えており、令和4年度の更新率（0.99%）では、約101年に1回の更新ペースです。（令和3年度の全国の平均：0.66%（約130年に1回））

ただし、経年化した管路を一度に更新することは難しいため、老朽度・重要度を考慮し計画的に更新する必要があります。



※棒グラフ：盛岡市の数値
 ※折れ線グラフ：類似団体平均値

1 水道事業の状況

(2) 施設

ウ 耐震化

令和3年度末時点における水道施設の耐震化の状況は、基幹的な水道管のうち耐震性のある管路の割合が70.6%、浄水施設の耐震化率が57.6%、配水池の耐震化率が69.9%となっており、全国平均を上回っています。

(令和3年度全国平均：基幹的な水道管のうち耐震性のある管路の割合41.2%、浄水施設の耐震化率39.2%、配水池の耐震化率62.3%)

水道施設の耐震化にあたっては、水道施設耐震化計画に基づき、効果的な耐震化整備路線を抽出し、優先順位を設定して整備を進めています。具体的には、人命の安全確保に重要な基幹病院や要援護者収容避難場所などへの安定給水を確保するため、重要給水施設を選定し、配水幹線の新設及び配水支管の耐震化を実施しています。

1 水道事業の状況

(3) 料金

現在の水道料金体系は、水道事業を取り巻く環境の変化や水道の使用実態に即した、利用者間の負担の適正化を図るため、平成29年4月1日に改定を行い、固定費と変動費の割合に適合した、将来を見据えた逦増逦減型の料金体系を採用しました。

また、人口減少下においても料金収入を維持することを目的とし、資産維持率1.46%として算定しています。

【水道料金表（1か月）】※消費税を含む。

種別、口径\料金区分		基本料金	1立方メートル(1m ³)					
			第1段	第2段	第3段	第4段	第5段	
一般用	メーターの口径が25mm以下のもの	13mm	990円	1~10m ³ まで 66円	11~20m ³ まで 124円	21~30m ³ まで 220円	31~1,000m ³ まで 275円	1,001m ³ 以上 220円
		20mm	1,650円					
		25mm	2,640円					
	メーターの口径が30mm以上のもの	30mm	4,950円	1~1,000m ³ まで 275円	1,001m ³ 以上 220円			
		40mm	9,130円					
		50mm	16,610円					
75mm		43,670円						
	100mm	91,080円						
	150mm	261,690円						
公衆浴場用	一般公衆浴場	一般用に同じ	1m ³ 以上 52円					
	温泉浴場	〃	1~100m ³ まで 143円 101m ³ 以上 220円					
	臨時用	〃	1m ³ 以上 517円					

1 水道事業の状況

(4) 組織

平成22年度に下水道部と水道部を統合し 上下水道局となりました。

【組織図】 令和5年4月1日現在

上下水道事業管理者							
上下水道部長							
上下水道部次長(2人)							
	単位:人						
	総務課	経営企画課	給排水課	水道建設課	水道維持課	浄水課	合計
課長級	1	2	1	1	1	3	9
課長補佐級	3	2	5	4	3	9	26
係長級	3	5	12	4	5	13	42
主任	4	5	7	5	5	7	33
主事・技師	2	9	4	6	5	9	35
合計	13	23	29	20	19	41	145

※総務課、経営企画課及び給排水課は、下水道事業に従事する職員を含む。

1 水道事業の状況

(5) これまでの主な経営健全化の取組

ア 建設投資の抑制

平成15年度まで約30億円台で推移してきた合併緊急整備事業費を、その後約15億円と半減させることにより、起債の発行を抑制し、これを10年間継続させました。

イ 人件費の抑制

委託化の推進による職員定数の削減及び公務員給与の賃金見直しにより、15年間で約6億円を削減しました。

ウ 起債残高の減額

公的資金補償金免除繰上償還を活用し、平成19～21年度の3年間で約28億円を償還した。このことにより、支払利息を約3億5千万円削減しました。

エ 広域連携の検討

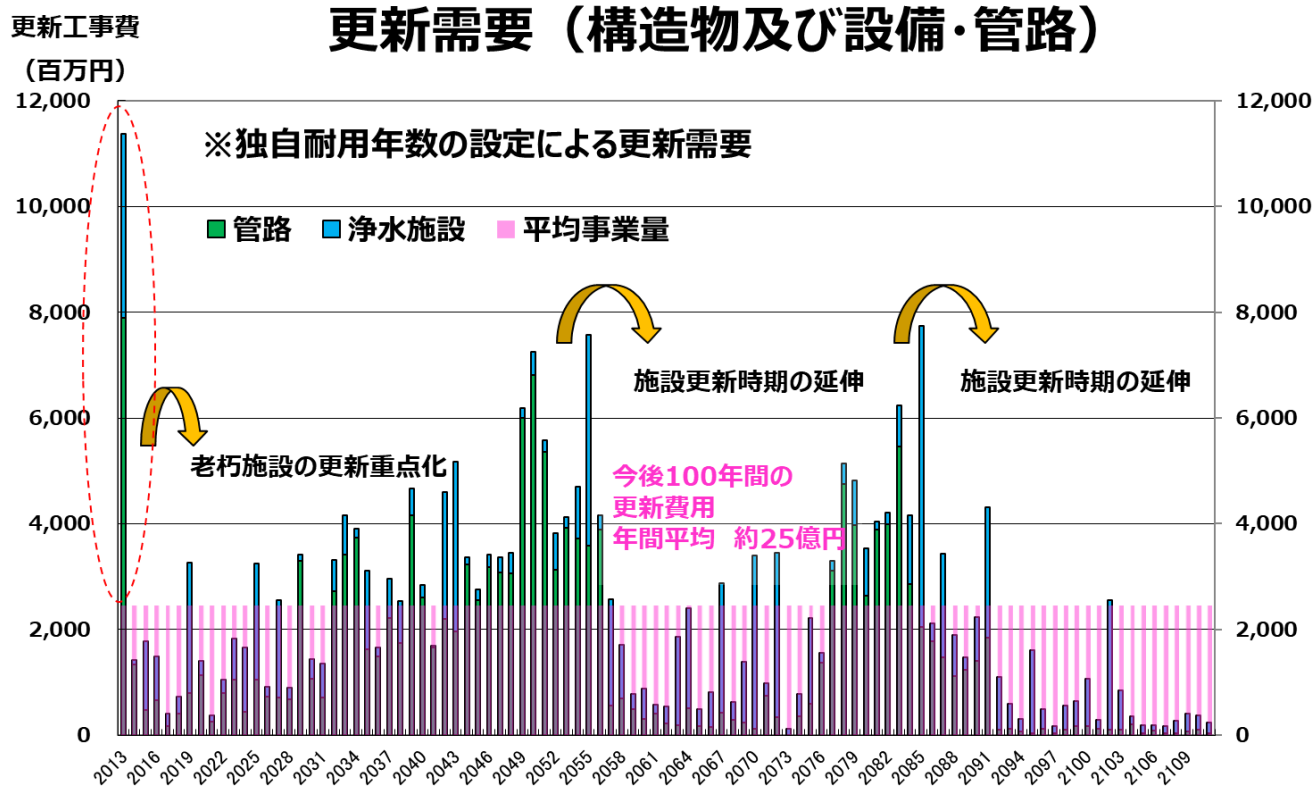
岩手県を中心に、関係事業者と協議を進めており、持続的な経営のための努力を進めています。

1 水道事業の状況

(5) これまでの主な経営健全化の取組

オ アセットマネジメント

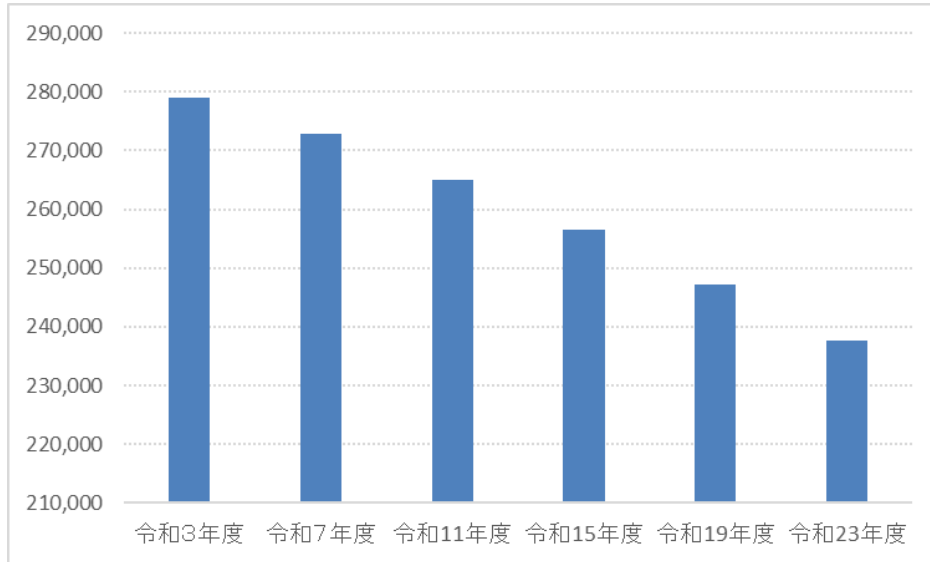
平成24年度に、今後100年間（2012年～2111年）の水道施設の更新需要を独自の耐用年数で試算したところ、年間平均で約25億円の更新需要が見込まれています。



2 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

人

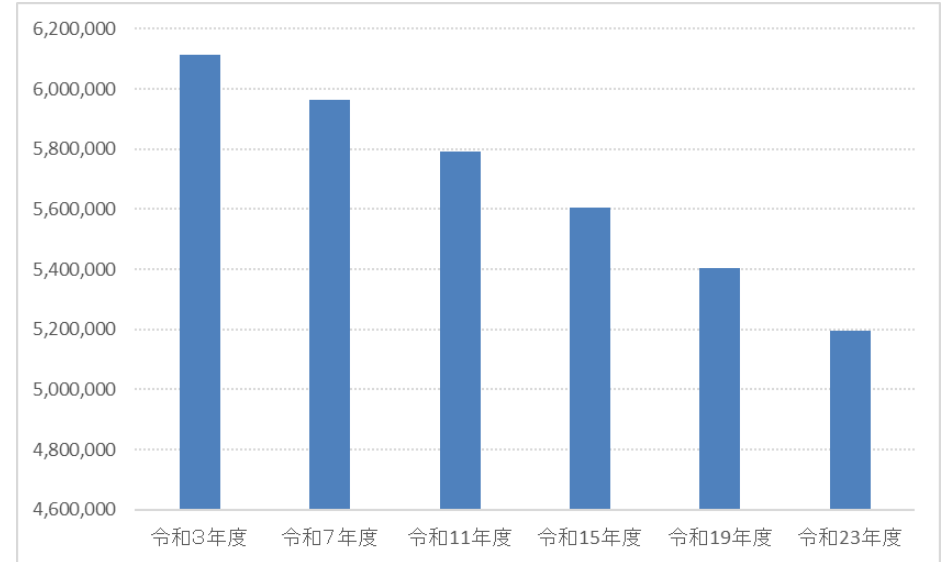


	令和3年度	令和7年度	令和11年度	令和15年度	令和19年度	令和23年度
給水人口(人)	279,016	272,773	264,967	256,464	247,234	237,626
令和3年度比減少率(%)		2.24%	5.04%	8.08%	11.39%	14.83%

※盛岡市の人口推計の減少率をもとに算定

(2) 料金収入の見通し

千円



	令和3年度	令和7年度	令和11年度	令和15年度	令和19年度	令和23年度
水道料金収入予測(千円・税抜)	6,111,958	5,963,495	5,792,838	5,606,946	5,405,149	5,195,091
令和3年度比減少率(%)		2.43%	5.22%	8.26%	11.56%	15.00%

20年間で約**15%**減少の見込み

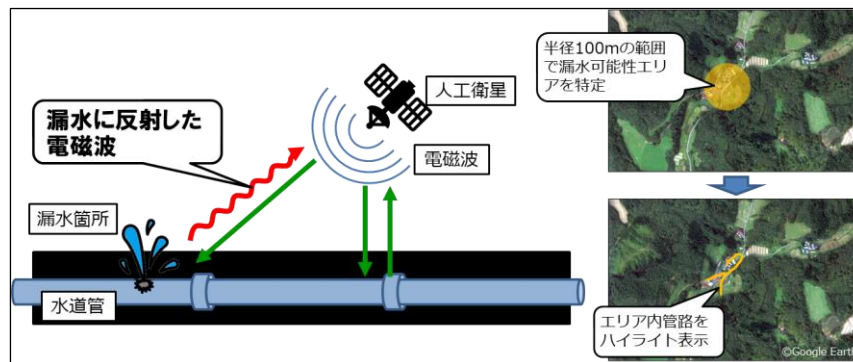
3 今後の主な取組

(1) 水道の施設整備等の推進



- ・ 施設の老朽化を踏まえた水道施設の再構築
- ・ 災害対策として、医療施設や福祉施設等の重要給水施設への配水管の耐震化
- ・ 経年管対策として、高級鋳鉄管(CIP)、硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)の布設替え工事 等

(2) DXの推進



- ・ 維持点検業務におけるドローンの活用
- ・ 人工衛星画像による漏水解析 等

3 今後の主な取組

(3) 中屋敷ポンプ場建設



【中屋敷ポンプ場】

中屋敷浄水場は、令和5年2月28日に浄水処理を停止し、ポンプ場としてリニューアルします。老朽化した施設をリニューアルすることによって、耐震性を向上させるとともに、近年頻発する豪雨災害に対する浸水対策を強化することにより、災害に強い施設を構築します。

(4) 米内浄水場の更新



【米内浄水場】

米内浄水場は、昭和9年に稼働を開始し、令和5年度で89年目を迎えました。創設時に建設された各施設の老朽化は進んでおり、耐震性や持続性の面では対策が急務となっています。令和6年度までに「米内浄水場更新基本計画」を策定するよう取り組んでいます。

なお、米内浄水場以外の浄水場についても、老朽化等により今後の更新が見込まれています。

4 今後の取組方針

基本理念：**安全でおいしい水を安定的に供給する強靱な水道システムを築き**
将来にわたってお客さまから信頼される水道

将来にわたり水道を持続させるため

経費の抑制 と **最大限の事業効果発揮** の両立

具体策

① 水道施設の適正維持

- 水道施設の計画的な改築・更新の実施
⇒ 省エネルギー化・耐震強化など機能向上も併せて図る。

② 効率的な事業運営

- 需要の減少に応じた適正規模化
- 経営のプロ、技術のプロの継続的育成

③ 健全経営の推進

- 適切な料金水準と体系の定期的な見直しの実施

5 投資・財政計画

(4) 水道事業投資・財政計画（収支計画）

ア 収益的収支について

単位：千円

区分		年度	経営戦略 令和7～10年度				経営戦略 令和11～14年度			
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
収益的収支（税別）	収益的収入	水道料金	5,963,495	5,920,830	5,878,166	5,835,502	5,792,838	5,750,174	5,702,431	5,654,688
		他会計負担金	28,662	28,598	28,532	28,471	28,425	28,389	28,385	28,385
		長期前受金戻入	737,669	760,108	781,425	786,241	792,024	795,929	806,151	805,334
		その他の収入	316,026	314,587	313,474	311,992	317,372	313,620	305,907	303,481
		合計	7,045,852	7,024,123	7,001,597	6,962,206	6,930,659	6,888,112	6,842,874	6,791,888
	収益的支出	維持管理費	3,295,946	3,343,976	3,161,460	3,245,056	3,256,825	3,344,053	3,288,518	3,177,504
		減価償却費	2,455,909	2,543,981	2,636,679	2,701,353	2,771,951	2,816,619	2,873,140	2,910,390
		支払利息及び企業債取扱諸費	43,848	33,472	26,413	20,868	16,365	12,679	9,950	7,893
		その他の支出	62,271	66,501	62,271	62,271	62,271	62,271	62,271	62,271
		合計	5,857,974	5,987,930	5,886,823	6,029,548	6,107,412	6,235,622	6,233,879	6,158,058
当年度純利益（又は純損失）		1,187,878	1,036,193	1,114,774	932,658	823,247	652,490	608,995	633,830	

5 投資・財政計画

(4) 水道事業投資・財政計画（収支計画）

ア 収益的収支について

単位：千円

区分		年度	経営戦略 令和15～18年度				経営戦略 令和19～22年度				経営戦略 令和23～26年度			
			令和15年度	令和16年度	令和17年度	令和18年度	令和19年度	令和20年度	令和21年度	令和22年度	令和23年度	令和24年度	令和25年度	令和26年度
収益的収支（税別）	収益的収入	水道料金	5,606,946	5,559,204	5,511,461	5,458,305	5,405,149	5,351,994	5,298,838	5,245,683	5,195,091	5,144,498	5,093,906	5,043,314
		他会計負担金	28,385	28,385	28,385	28,385	28,385	28,385	28,385	28,385	28,385	28,385	28,385	28,385
		長期前受金戻入	804,043	798,583	789,342	770,319	747,791	737,782	873,389	777,532	767,223	759,196	750,570	739,535
		その他の収入	296,287	293,416	289,782	294,366	289,561	281,278	279,173	278,255	276,332	273,401	278,468	275,133
		合計	6,735,661	6,679,588	6,618,970	6,551,375	6,470,886	6,399,439	6,479,785	6,329,855	6,267,031	6,205,480	6,151,329	6,086,367
	収益的支出	維持管理費	3,328,333	3,198,339	3,252,176	3,226,086	3,311,596	3,253,727	3,277,133	3,162,702	3,249,388	3,239,567	3,259,851	3,294,428
		減価償却費	2,909,803	2,942,561	2,954,027	2,970,274	2,924,716	2,900,460	3,223,158	3,228,630	3,205,122	3,189,411	3,189,588	3,374,287
		支払利息及び企業債取扱諸費	6,594	5,551	4,669	3,890	3,199	2,549	1,889	1,253	760	438	234	95
		その他の支出	62,271	62,271	62,271	62,271	62,271	62,271	494,337	62,271	62,271	62,271	62,271	62,271
		合計	6,307,001	6,208,722	6,273,143	6,262,521	6,301,782	6,219,007	6,996,517	6,454,856	6,517,541	6,491,687	6,511,944	6,731,081
当年度純利益（又は純損失）		428,660	470,866	345,827	288,854	169,104	180,432	△ 516,732	△ 125,001	△ 250,510	△ 286,207	△ 360,615	△ 644,714	

令和21年度から純損失が発生

5 投資・財政計画

(4) 水道事業投資・財政計画（収支計画）

イ 資本的収支等について

単位：千円

区分		年度	経営戦略 令和7～10年度				経営戦略 令和11～14年度			
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
資本的収入及び支出（税込み）	資本的収入	企業債	0	0	0	0	0	0	0	0
		他会計負担金	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000
		国庫補助金	904,739	893,378	245,833	333,333	669,600	869,600	609,600	582,933
		その他の収入	693,679	1,116,491	1,125,809	1,124,414	1,127,979	1,267,460	1,099,479	1,090,865
		合計	1,642,418	2,053,869	1,415,642	1,501,747	1,841,579	2,181,060	1,753,079	1,717,798
	資本的支出	建設改良費	5,834,800	6,055,643	4,637,693	4,482,389	5,123,943	5,696,725	4,688,445	4,744,216
		企業債償還金	499,537	373,394	311,789	256,855	217,911	166,653	122,216	77,843
		その他の支出	201,000	701,000	701,000	701,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		合計	6,535,337	7,130,037	5,650,482	5,440,244	5,342,854	5,864,378	4,811,661	4,823,059
		収支不足額	4,892,919	5,076,168	4,234,840	3,938,497	3,501,275	3,683,318	3,058,582	3,105,261
企業債残高		1,948,367	1,574,973	1,263,185	1,006,331	788,420	621,769	499,554	421,712	
翌年度繰越留保資金		△ 856,114	△ 2,557,800	△ 3,344,034	△ 3,966,767	△ 4,168,533	△ 4,647,671	△ 4,566,877	△ 4,462,485	

**全年度で翌年度繰越留保資金が
マイナスに転じる**

5 投資・財政計画

(4) 水道事業投資・財政計画（収支計画）

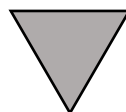
イ 資本的収支等について

単位：千円

区分		年度	経営戦略 令和15～18年度				経営戦略 令和19～22年度				経営戦略 令和23～26年度			
			令和15年度	令和16年度	令和17年度	令和18年度	令和19年度	令和20年度	令和21年度	令和22年度	令和23年度	令和24年度	令和25年度	令和26年度
資本的 収入 及び 支出 (税 込 み)	資本的 収入	企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他会計負担金	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000	44,000
		国庫補助金	489,600	489,600	462,933	489,600	489,600	462,933	233,333	233,333	233,333	233,333	233,333	533,333
		その他の収入	1,074,465	1,392,965	556,464	1,049,473	1,049,464	1,056,464	354,464	354,464	354,464	354,464	354,464	354,464
		合計	1,608,065	1,926,565	1,063,397	1,583,073	1,583,064	1,563,397	631,797	631,797	631,797	631,797	631,797	931,797
	資本的 支出	建設改良費	5,093,331	4,637,912	4,601,015	4,467,368	5,640,709	4,566,048	3,296,869	3,150,255	3,320,789	3,252,995	11,464,775	6,982,913
		企業債償還金	60,824	52,126	47,119	42,587	39,507	40,157	40,817	34,380	24,790	17,224	11,841	10,345
		その他の支出	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		合計	5,155,155	4,691,038	4,649,134	4,510,955	5,681,216	4,607,205	3,338,686	3,185,635	3,346,579	3,271,219	11,477,616	6,994,258
		収支不足額	3,547,090	2,764,473	3,585,737	2,927,882	4,098,152	3,043,808	2,706,889	2,553,838	2,714,782	2,639,422	10,845,819	6,062,461
企業債残高		360,880	308,763	261,644	219,058	179,551	139,395	98,578	64,198	39,409	22,185	10,345	0	
翌年度繰越留保資金		△ 4,963,322	△ 4,644,190	△ 5,249,910	△ 5,234,054	△ 6,424,577	△ 6,658,942	△ 6,728,725	△ 6,597,785	△ 6,770,060	△ 6,897,455	△ 14,550,331	△ 17,942,921	

まとめ

- 水道料金の減少
- 施設の老朽化
- 建設改良費の増加
- 大規模事業の実施
- 純損失の発生

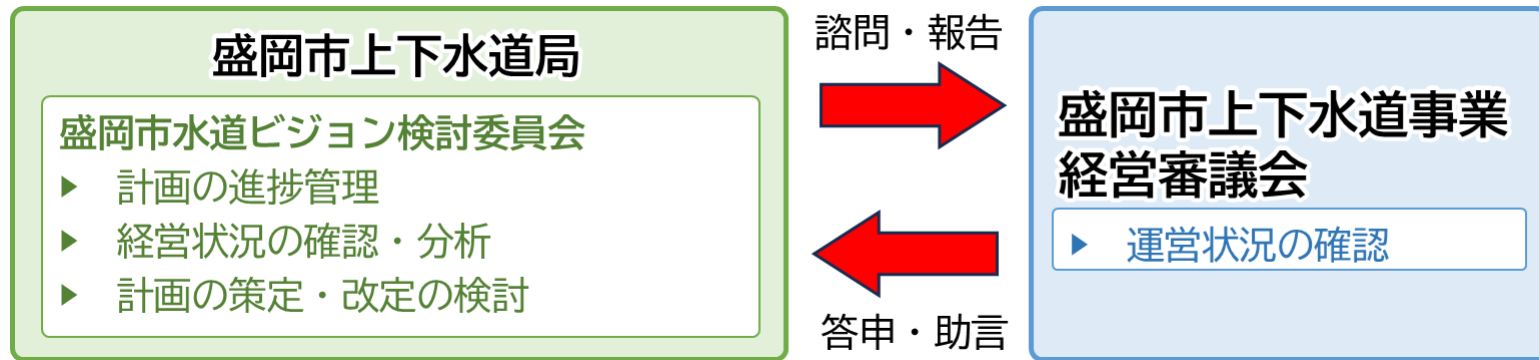


起債の借入れの再開の検討、水道料金の見直しの実施により
「安全でおいしい水を安定的に供給する強靱な水道システムを築き 将来にわたってお客さまから信頼される水道」を実現する

6 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

盛岡市水道事業基本計画2025との整合を図りながら、毎年のローリングを実施し進捗管理を行い、状況を「盛岡市上下水道事業経営審議会」で報告をします。

また、4年に1回水道料金の妥当性を含めた経営状況を見直しをし、必要に応じ、経営戦略の改定を実施します。



盛岡市水道ビジョン2045 令和7～26年度（20年間）

盛岡市水道事業基本計画
2025
令和7～16年度（10年間）

盛岡市水道事業基本計画
2035
令和17～26年度（10年間）

盛岡市水道事業経営戦略2025（令和7～26年度）

令和7～
10年度

令和11～
14年度

令和15～
18年度

令和19～
22年度

令和23～
26年度

【参考】

水道料金 順位表 (岩手県内13自治体)

1 か月当たり (単位：円)

	10m ³		20m ³		30m ³		40m ³		50m ³		100m ³	
	料金	順位	料金	順位	料金	順位	料金	順位	料金	順位	料金	順位
1 盛岡市	2,310	6	3,550	11	5,750	10	8,500	9	11,250	5	25,000	3
2 宮古市	1,496	12	3,146	13	4,796	13	6,446	13	8,096	13	16,346	12
3 大船渡市	2,074	9	4,274	6	6,474	6	8,674	7	10,874	9	21,874	9
4 久慈市	2,100	8	4,460	4	6,880	3	9,300	3	11,720	4	23,820	7
5 遠野市	2,400	4	4,600	3	6,800	4	9,000	5	11,200	6	22,200	8
6 一関市	2,383	5	4,891	2	7,520	2	10,380	1	13,240	1	30,180	1
7 陸前高田市	2,475	2	4,125	7	5,775	9	7,425	10	9,075	10	17,325	11
8 釜石市	1,452	13	3,597	10	6,127	8	8,657	8	11,187	7	23,837	6
9 二戸市	2,821	1	5,186	1	7,551	1	9,916	2	12,281	2	24,106	4
10 八幡平市	1,716	11	3,476	12	5,236	12	6,996	11	8,756	11	17,556	10
11 奥州市	2,035	10	4,015	8	6,270	7	8,690	6	11,110	8	24,035	5
12 滝沢市	2,215	7	3,755	9	5,295	11	6,835	12	8,375	12	16,075	13
13 岩手中部水道企業団	2,420	3	4,345	5	6,655	5	9,295	4	11,935	3	26,235	2

※メーター口径20mm
 ※消費税等を含む。
 ※順位は料金が高い順